

# 令和7年度 和泉小学校 学校評価アンケート集計結果

4:とても当てはまる 3:少し当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:まったく当てはまらない 0:分からない

【児童用】	4	3	2	1
Q1:がっこうのじゅぎょうは、わかりやすく、まなぶのがたのしいとおもいますか。	38%	42%	13%	7%
Q2:せんせいは、ひとりひとりにあわせて、べんぎょうをわかりやすくしてくれていますか。	39%	41%	14%	6%
Q3:じゅぎょうで、タブレットやコンピューターをつかうことがありますか。	42%	42%	13%	3%
Q4:たいいくやけんこうのべんぎょうで、からだをうごかしたり、けんこうについてまんだりしていますか。	62%	33%	4%	1%
Q5:どうとくのじゅぎょうやまいにちのせいかつで、やさしいところや、ルールをまもることをたいせつにしていますか。	51%	40%	7%	2%
Q6:がっこうでは、いじめをゆるさないふんいきがあり、みんなをたいせつにしていますか。	39%	40%	16%	5%
Q7:がっこうのことやおしらせを、おうちのひとにきちんとつたえてくれていますか。	46%	38%	11%	5%
Q8:がっこうのせんせいやおうちのひとが、そうだしやすく、しんせつにこたえてくれていますか。	46%	39%	11%	4%
Q9:がっこうでは、ちいきのひとやゲストのせんせいといっしょに、べんぎょうしたりたのしいことをしていますか。	35%	45%	13%	7%
Q10:がっこうは、ちいきのイベントやうんどうかいなどに、きょうりよくしたりいっしょにかつどうしたりしていますか。	37%	41%	16%	6%

○体育の学習(Q4)や道徳の学習(Q5)についての肯定的な回答が90%を越えていることから、体を動かすことの心地よさを味わったり、道徳心を養う学習へ前向きに取り組んでいたりがうかがえる。

●子どもは学校での学習で「分かりやすい」「たのしい」と思うこと(Q1)に否定的な割合が20%ある。また、個にあった指導(Q2)についても否定的な回答の割合が20%ある。

⇒児童の興味・関心が高まる指導方法の工夫が求められている。問題解決学習や課題解決型の学習を学校全体として取り組むことや個別最適な学びを保障するための校内での指導体制の構築が必要である。

●いじめを許さない雰囲気や友達を大切にする風土(Q6)への否定的な回答の割合が21%ある。

⇒学年・学級で軽微ないじめにつながる関わりであっても見逃さずにしっかりと指導することなど、これまで以上に徹底していく必要がある。また、友達への言葉がけなど具体的に示すようにするとともに、「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言えるように指導することで他者との良好な関係が構築できるようにしていく。

【保護者用】	4	3	2	1	0
Q1:子どもが学ぶことを楽しめるように、わかりやすく工夫された授業が行われていると思う。	44%	41%	5%	1%	9%
Q2:子ども一人一人に合わせたきめ細やかな指導が行われていると思う。	28%	49%	13%	1%	9%
Q3:ICT 機器(タブレットやコンピュータなど)を活用した授業が行われていると思う。	46%	45%	3%	1%	5%
Q4:体育や保健の学習を通して、子どもの体力づくりや健康の向上に取り組んでいると思う。	33%	50%	4%	1%	12%
Q5:道徳の授業や日常の活動を通して、子どもの思いやりの心や正しい行動を育てていると思う。	37%	43%	6%	1%	13%
Q6:いじめを許さず、一人一人を大切に作る雰囲気づくりに努めていると思う。	35%	36%	9%	3%	17%
Q7:学校からの連絡や学校生活の様子などが、「すぐーる」などを通して、保護者にわかりやすく伝えられていると思う。	47%	46%	6%	1%	0%
Q8:学校は、保護者が連絡や相談しやすい雰囲気、丁寧に対応してくれていると思う。	59%	34%	4%	2%	1%
Q9:地域や外部講師などと連携し、特色ある教育活動に力を入れていると思う。	47%	36%	6%	1%	10%
Q10:学校は、地域の行事や活動に協力し、地域とのつながりを大切にしていると思う。	60%	32%	3%	0%	5%

○ICT 機器を使用して学習していること(Q3)は肯定的な回答が90%を越えていることから、掲示物や学校公開等を通して、ICT 機器の有効活用を感じていただいていることがうかがえる。

○「すぐーる」などを活用した情報発信で保護者との情報共有が適切に行われていることがうかがえる(Q7)。

○「連絡や相談しやすい雰囲気、丁寧に対応してくれている」(Q8)の肯定的な回答が93%あり、保護者との連携を丁寧に行っていることがうかがえる。

○「学校は、地域の行事や活動に協力し、地域とのつながりを大切にしていると思う。」(Q10)の肯定的な回答が92%あり、神田祭をはじめ教職員が積極的に地域行事等に協力していることに対して評価いただいていることがうかがえる。その一方で、同質問(児童用 Q10)に対する児童の回答においては、否定的な回答が22%もあることを受け、課題意識をもって教育活動を進めていく必要がある。

●「分からない」の回答が10%を越えている設問が複数ある(Q4、5、6、9)。

⇒引き続きお便り(学年だより、学級通信ほか)等を通じて学校の様子を伝えていくとともに、学校公開等に多くの保護者の方が参加できるように開催の工夫をする。

●いじめを許さない雰囲気作りについて否定的な回答と「分からない」を合わせると約30%となり、他の項目よりも多くなっている。改善に向けて、日々の児童理解に努めるとともに、「いじめはどの学級でも起こりうるものである」との認識に立ち、全教職員が「いじめをしない、させない、見逃さない」という毅然とした態度で引き続き指導にあたっていく。

4:とても当てはまる 3:少し当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:まったく当てはまらない

【教職員用】	4	3	2	1
Q1:学習内容が分かりやすく、子どもが学ぶことが好きになるように、工夫した授業を行っている。	37%	58%	5%	0%
Q2:一人一人の学びが深まるよう、個に応じた指導を工夫している。	32%	58%	10%	0%
Q3:ICT 機器を活用して授業を行っている。	42%	53%	5%	0%
Q4:体育的活動や保健指導などを通して、子どもの体力向上や健康促進を図っている。	26%	47%	16%	11%
Q5:道徳の授業を中心とした日頃の教育活動を通して、子どもに思いやりの心や規範意識を育てている。	47%	37%	16%	0%
Q6:いじめなどを許さない、一人一人を大切にするように心がけて教育活動を行っている。	89%	11%	0%	0%
Q7:すぐーなどで、連絡事項や学校での教育活動の様子を適切に保護者に伝えている。	74%	26%	0%	0%
Q8:保護者にとって連絡や相談がしやすく、それらに適切に対応をしている。	26%	69%	5%	0%
Q9:地域と連携したり、外部講師等を活用したりして、特色ある教育活動に力を入れている。	26%	48%	26%	0%
Q10:地域の行事などに協力したり、連携を取ったりして活動をしている。	21%	74%	5%	0%

○「いじめ防止」「一人一人を大切にしている教育活動」や「すぐー等を用いた保護者への情報発信」は肯定的な回答が 90%近くあり、日々児童理解に努め、子どもたちが安全安心な学校生活を送れるように教職員が高い意識をもって取り組んでいることがうかがえる。また、ICT 活用は約 95%が肯定的な回答をしており、日常的に ICT が活用されていると言える。

●子どもの体力向上・健康促進の項目(Q4)では、「とても当てはまる」「少し当てはまる」という肯定的な回答が73%である。  
⇒今年度も継続している朝遊びを継続したり、休み時間等に外で元気に遊ぶことについて更に意識して声かけをしたりするなど、日常的に体を動かす機会を確保する。

●特色ある教育活動の項目(Q9)では、「とても当てはまる」「少し当てはまる」という肯定的な回答が74%である。  
⇒和泉小では、ミニバスケットボールやビッグバンド等様々な特色ある教育活動を行っているが、ほかにも行っている活動がある。それらに参加する児童を増やし、取り組んだことが発揮できるような場を設定することで特色ある教育活動を充実させていく。